

令和3年 5月の優しさ通信

目次

- (1) 🧑‍🎓 中学生 5% 家族を世話 「ヤングケアラー」初調査
- (2) 🧑‍🎓 成年後見制度 支援整わず
- (3) 🚗 AIバス、210円で家近くに タクシー業界、揺らぐ共存

♥️ 今月の福祉用具 - 自助具 自助具の選び方 自助具の条件



(1) 🧑‍🎓 中学生 5% 家族を世話 「ヤングケアラー」初調査 就学と両立困難、国支援へ

*厚生労働省と文部科学省は、家族の介護や世話を担う子供「ヤングケアラー」に関する初の実態調査を公表。

*ヤングケアラー：障害や病気のある家族の世話をしたり、家族に代わって幼い兄弟姉妹の世話をしたりしている 18歳未満の子供。

*調査は昨年12月以降に全国の中学2年生を対象に実施。

*ケアの対象は兄弟姉妹が61.8%と最も多く、父母(23.5%)、祖父母(14.7%)。

*1日のケア時間が7時間以上に及んでいたのは11.6%。

*「やりたいことができないこと」は、「自分の時間が取れない」が20.1%、「宿題や勉強の時間が取れない」が16.0%。

*全日制高校2年生のうちケアしている家族がいるのは、4.1%。定時制高校2年生は8.5%、通信制の高校生は11.0%。

・7時間以上ケアをする生徒はそれぞれ1~2割。

*自身をヤングケアラーと認識している子供は、中学2年生で1.8%。

(2021年4月13日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(2) 成年後見制度 支援整わず

*成年後見制度：認知症患者や障害がある人の意思決定支援や財産管理などを担う代理人制度。

*利用者や後見人を支援する「中核機関」の設置は、全 1741 市区町村の 55% にとどまります。

*成年後見制度は 2000 年に始まりましたが、利用率は低い状況です。

制度の利用者は 2020 年末で 23 万人あまり。

*使い勝手やコストなどの面でメリットを感じにくいとの声も。

(2021 年 4 月 15 日 産経新聞記事より抜粋・引用)

(3) A I バス、210 円で家近くに

タクシー業界、揺らぐ共存 大阪メトロが実験、経路柔軟に

*大阪市高速電気軌道（大阪メトロ）が、大阪市内で 3 月末に始めた人工知能（A I）オンデマンド交通の実験。利用者の需要に応じて走るルートを変える仕組み。

*大阪市生野区と平野区の計 3 地区でまず実験。

*約 300Mごとにバス停を設けます。

*各地区に 3~4 台のバスを配置し、需要に応じて 1 台が 1 時間に最大 3 回走ります。

*運行は毎日午前 6 時から午後 11 時まで。

*乗り降りするバス停と乗車時刻を利用者が選んでアプリか電話で予約。

・A I が最適なバスの経路を算出して運行。

*きめ細かくバス停を設定したのは、高齢者の自宅近くを巡り外出を促す狙いも。

*運賃は大人が 210 円、子供が 110 円。

*大阪シティバスは既存路線の 6 割が赤字。大阪市からの補助は一切ありません。

*1 日 1 台に約 200 人が乗れば収支が釣り合うといえます。

・1 時間に 1 台当たり約 12 人が乗る必要があります。

*タクシーが地域から追い出される可能性も。

(2021 年 4 月 21 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



今月の福祉用具－自助具 自助具の選び方 自助具の条件

☆自助具を選ぶ際の目安

●手などの力が弱くて持てないとき

*持たずに済むもの、少ない力で持てるよう柄を太くしたもの、柄を変形させたり、ホルダーなどでひっかけて持つか固定式のもの。

●動く範囲が狭くて手などが届かないとき

*柄を届く長さにしたものや伸び縮みできたり、可動式のもの、持たずに済むもの。

●感覚や知覚がないか、鈍くなって危ないとき

*二重保温式や音・光・振動などで操作したり、知らせたりなどの配慮のあるもの。

●身体が思い通りに動かず、操作ができないとき

*ワンタッチ式、自動式、変形、調節式などの工夫のあるもの。

●両手を使えないとき

*片手でつかえるもの。

自助具の条件

①安全性・清潔さが保て、管理しやすいこと。

②機能性が高く、身体機能的弊害がないこと。

③独力で使え、操作が容易なこと。

④適合製作・修理可能で、耐久性があること。

⑤入手しやすく、適当な価格であること。

*すべての条件を満たすのは困難。

*実物を手にしても、実際に使ってみなければわからないことが多くあります。

*試してもすぐには決められないことも多くあります。

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより)

